

令和7年第5回（9月）みなかみ町議会定例会会議録第2号

令和7年9月12日（金曜日）

議事日程 第2号

令和7年9月12日（金曜日）午前9時開議

- | | | |
|-------|-------------------|-----------------------------------|
| 日程第 1 | 陳情第 2号 | みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設管理事業に関する陳情（6月継続審査） |
| 日程第 2 | 認定第 1号 | 令和6年度みなかみ町一般会計歳入歳出決算認定について |
| 日程第 3 | 認定第 2号 | 令和6年度みなかみ町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について |
| | 認定第 3号 | 令和6年度みなかみ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について |
| | 認定第 4号 | 令和6年度みなかみ町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について |
| 日程第 4 | 認定第 5号 | 令和6年度みなかみ町水道事業会計決算認定について |
| | 認定第 6号 | 令和6年度みなかみ町下水道事業会計決算認定について |
| 日程第 5 | 議案第79号 | 令和7年度みなかみ町一般会計補正予算（第2号）について |
| | 議案第80号 | 令和7年度みなかみ町水道事業会計補正予算（第1号）について |
| 日程第 6 | 閉会中の継続審査・調査申出について | |
| 日程第 7 | 字句等の整理委任について | |

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員（13人）

1 番 河 合 史 将 君
 3 番 石 坂 欣 也 君
 5 番 茂 木 法 志 君
 8 番 阿 部 清 君
 10 番 高 橋 久美子 君
 12 番 石 坂 武 君
 14 番 小 林 洋 君

2 番 江 口 樹 君
 4 番 牧 田 直 己 君
 7 番 鈴 木 美 香 君
 9 番 高 橋 視 朗 君
 11 番 森 健 治 君
 13 番 高 橋 市 郎 君

欠席議員（1人）

6 番 星 野 宗 央 君

職務のため議場に出席した事務職員の職氏名

議会事務局長	中 澤 聡	書 記	小此木 猛
書 記	原 澤 達 也		

説明のため出席した者

町 長	阿 部 賢 一 君	副 町 長	茂 木 直 人 君
教 育 長	田 村 義 和 君	総 務 課 長	鈴 木 伸 史 君
財 政 課 次 長	村 山 博 志 君	企 画 課 長	小 池 俊 弘 君
税務会計課長	竹 内 理 恵 君	町民福祉課長	高 橋 輝 君
子育て健康課長	泉 経 征 君	環 境 課 長	木 樽 晴 彦 君
上下水道課長	小 林 勲 君	農 林 課 長	合 沢 衛 君
観光商工課長	本 間 泉 君	地域整備課長	味 戸 勝 彦 君
学校教育課長	吉 田 武 春 君	生涯学習課長	大 塚 裕 君
代表監査委員	高 橋 道 明 君		

開 会

議 長（小林 洋君） おはようございます。

ただいまの出席議員は13名で定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

開 議

議 長（小林 洋君） これより本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付いたしました議事日程第2号のとおりであります。

議事日程第2号により、議事を進めます。

日程第1 陳情第2号 みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設管理事業に関する陳情（6月継続審査）

議 長（小林 洋君） 日程第1、陳情第2号、みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設管理事業に関する陳情（6月継続審査）を議題といたします。

所管の委員長の審査結果報告を求めます。

産業観光生活環境常任委員会委員長牧田直己君。

（産業観光生活環境常任委員会委員長 牧田直己君登壇）

産業観光生活環境常任委員会委員長（牧田直己君） それでは、産業観光生活環境常任委員会に付託されました令和7年6月議会の陳情第2号、みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設管理事業に関する陳情書についての審査の経過と結果についてをご報告申し上げます。

まず、当陳情については、令和7年6月定例議会にて提出された陳情書を前定例議会中の当委員会において継続審査と決定したことを受け、本定例会の当委員会にて審査を行いました。

各委員からの意見として、法的な問題は、それは弁護士を入れてやるなり、相手の方とのやり取りをすべき。法律に関する判断については、この委員会で判断することではないし、議会として、委員会としてやれる範囲というのはどうも逸脱している。また、過去にお湯が足りなくて混合したのはやむを得ない状況の判断だったと思う。県からは、温泉の混合に対し遡及して罰則した例はないとの回答もあったと聞いております。

今後においてそういう指摘をされないような姿勢というのは、当局も温泉を供給する組合も、宿屋さんも日帰り温泉施設もそう、きちんと今後襟を正して運営していただくようお願いして、この件は不採択とすべきである。

整理されていない陳情をまず採択すべきではない。細かいところは、積立金の管理方法は不適切であるという陳情者の主張は指摘には当たらない。しかし、中には町が至らない部分もあるので、そこは改善すべきと考えているが、今回の陳情に対しましては不採択すべきと考えている。

地元有志でつくった団体に町営温泉供給管理事業を譲るべきとの記載がありますが、実際どこまで地元とのコンセンサスが取れているのかどうかということが不明である。また、そもそも個人的都合による陳情が見受けられるということも踏まえ、不採択。

今回のように指摘されないと法律的にも問題があるという課題は見つからなかった。この指摘というのは厳粛に受け止めるべきであり、趣旨採択が妥当。

確かに当局が調べ切れていない曖昧な部分もあるかもしれないが、明らかに主張が間違っている部分もある。今回はこの陳情を一つと見ますので不採択でいい。

陳情者は管理運営を任せられた責任者でもあった。町は温泉が混合されているという事実を知った時点ですぐ手を打ったわけなので、陳情に関しては不採択でいきたい。

以上、意見を踏まえ、最初に趣旨採択について諮り、討論はなく、起立により採決を諮った結果、起立少数により趣旨採択すべきものと決することは否決されました。

そして原案に戻り、採択の討論はなく、起立により採決を諮った結果、起立少数により、陳情第2号、みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設管理運営事業に関する陳情書は、不採択すべきものとして決定されました。

以上、委員長報告といたします。

議長（小林 洋君） 委員長の審査結果報告が終了しましたので、これより質疑に入ります。

陳情第2号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて陳情第2号の質疑を終結いたします。

これより陳情第2号について討論に入ります。

本陳情に対する委員長報告は不採択とすべきものであります。

したがって、原案に戻り採択について討論を行います。

まず、賛成討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） 次に、反対討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて陳情第2号の討論を終結いたします。

陳情第2号、みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設管理運営事業に関する陳情を起立により採決いたします。

本陳情に対する委員長報告は不採択とすべきものであります。

したがって、原案に戻り採択することについて採決いたします。

本陳情は、採択することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（小林 洋君） 起立少数であります。

よって、陳情第2号、みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設管理運営事業に関する陳情は、不採択とすることに決定いたしました。

日程第2 認定第1号 令和6年度みなかみ町一般会計歳入歳出決算認定について

議長（小林 洋君） 日程第2、認定第1号、令和6年度みなかみ町一般会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。

所管の委員長の審査結果報告を求めます。

総務文教厚生常任委員会委員長阿部清君。

（総務文教厚生常任委員会委員長 阿部 清君登壇）

総務文教厚生常任委員会委員長（阿部 清君） それでは、総務文教厚生常任委員会に付託されました認定第1号、令和6年度みなかみ町一般会計歳入歳出決算認定について、審査の経過と結果についてご報告申し上げます。

本件につきましては、既に提案理由の説明が終了しておりますので直ちに質疑に入りました。

なお、連合審査会においての審査でありましたので、歳入歳出ともに質疑内容につきましては主立ったものをご報告させていただきます。

まず歳入について。

上毛高原駅前駐車場の使用料は、令和6年度実績が1,696万7,718円、令和5年度と比較して若干の増額になっているが、利用台数を令和5年度と比較し説明をの問いに、令和5年度の利用台数は6万2,815台、令和6年度は6万1,672台と1,200台ほど減っている。ただ、利用される方が長時間駐車が多く、それに伴って約60万円ほどの収入増となったとの回答であった。

町税、固定資産税、両方に通じる不納欠損額が計上されているが、この背景とどのような取組をされたのかの問いに、徴収の努力をした結果不納欠損になる対象者、法人については倒産や事業停止等で徴収ができなくなった。個人については生活困窮者、所在不明者、財産等も見つからなかった者について、不納欠損処理をしているとの回答であった。

観光センターの使用料、一、二年前から金額が適正かどうか相談していると思うが、使用料について考えがあればの問いに、使用料については昨年もそういった意見をいただいております、検討委員会といった会を設け、一度検討したほうが良いと考えているとの回答であった。

続きまして歳出について。

人材活用管理事業2億6,000万円。去年より6,000万円増えているが、この詳細と会計年度任用職員の数が99人となっているが、今後増やしていくのか、新規採用職員を増やしたほうが良いのではの問いには、会計年度任用職員のヒアリングを各課とさせていただいて、任用のニーズがあれば採用させていただき、人数は増やしていく予定で考えている。人件費は人が増えたことで報酬、給料が2,000万円増加、令和6年度から手当として勤勉手当等3,000万円強を出す形となり、トータル6,000万円弱の費用が人件費としてかかっているとの回答であった。

広葉樹産業化プロジェクト、動画作成委託料、動画が完成されているのかの問いには、広葉樹の産業化プロジェクトの中で、昨年度取材ができる範囲、数年を通して画像のコンテンツを作成している。統合小学校で導入を検討している机と椅子、町内産材の伐倒から製材、加工、製造という一連の内容を昨年度中に取材。ただ、これから実際に開校して子供たちが使う場面まで、一体的な事業として考えているとの回答であった。

公用車管理費3,777万2,284円。昨年に比べ約840万円ほど減っている。過去に財政整理の観点から公用車の削減計画を財政課で話を受けた認識があるが、この計画を基に進めた結果、このような削減につながったのかの問いには、公用車については昨年の計画に基づき、令和6年度16台削減したとの回答であった。

後見制度利用促進事業200万円、中核機関運営業務委託料の内容はの問いには、社会福祉協議会に業務委託しており、成年後見制度の利用促進に関する法律で、中核機関を運営する事業ということで、成年後見制度に関する広報及び普及啓発、利用に関する相談支援等、業務内容を委託しているとの回答であった。

資源リサイクルセンター費が昨年より増額されているがの問いには、施設内の作業車購入が766万円、定期的に検査するはかりの検査130万円との回答であった。

消防団詰所車庫整備事業で事務事業の課題として、老朽が進み建て替えの要望が行政区から出ているが、何件ぐらい上がっているのかの問いに、令和6年度に一つの詰所が完成、来年度に1か所予定、要望としては3地区残っているとの回答であった。

林業事業費について、予算費支出及び流用増減ということで、マイナス42万5,000円となっているが、これを使わなかった理由はの問いに、森林整備の担い手対策事業に流用。町内の林業事業体に雇用されている方の社会保険料に流用させたとの回答であった。

高等学校費、利根沼田学校組合運営費負担事業2,000万円について、どのような項目で支出を出されたのか。一昨年生徒1人当たり1万円の負担を集めているが、これではとてもやっていけないので、少し値上げをしてほしいとの説明があったが、それ以後の経過についての問いには、生徒割が161名かける1万円とふるさと応援基金から1,912万1,200円充当されており、負担金ということで支出しているとの回答であった。

その他、公有財産に関する質問等があり、担当課より説明がありました。

以上で質疑を終結し、総務文教厚生常任委員会に切り替えたところ、討論はなく、採決の結果、認定第1号、令和6年度みなかみ町一般会計歳入歳出決算認定については、認定すべきものと決定いたしました。

以上、委員長報告といたします。

議長（小林 洋君） 委員長の審査結果報告が終了しましたので、これより質疑に入ります。

認定第1号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて認定第1号の質疑を終結いたします。

これより認定第1号について討論に入ります。

本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。

まず、反対討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(小林 洋君) 次に、賛成討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ありませんので、これにて認定第1号の討論を終結いたします。

認定第1号、令和6年度みなかみ町一般会計歳入歳出決算認定についてを採決いたします。

本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。

本案は、委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ご異議なしと認めます。

よって、認定第1号、令和6年度みなかみ町一般会計歳入歳出決算認定については、原案のとおり認定されました。

日程第3 認定第2号 令和6年度みなかみ町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

認定第3号 令和6年度みなかみ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

認定第4号 令和6年度みなかみ町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

議長(小林 洋君) 日程第3、認定第2号、令和6年度みなかみ町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてから認定第4号、令和6年度みなかみ町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてまでの、以上3件を一括議題といたします。

所管の委員長の審査結果報告を求めます。

総務文教厚生常任委員会委員長阿部清君。

(総務文教厚生常任委員会委員長 阿部 清君登壇)

総務文教厚生常任委員会委員長(阿部 清君) それでは、総務文教厚生常任委員会に付託されました認定第2号から認定第4号までの審査の経過と結果についてご報告申し上げます。

本件につきましては、既に提案理由の説明が終了しておりますので、直ちに質疑に入りました。

まず、認定第2号、令和6年度みなかみ町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてご報告申し上げます。

保険税において、歳入合計の予算現額、調定額、収入済額、いずれも前年度比減となっている。自然減や後期高齢者医療への移行、社保への移行が原因と考えるが、加入者数の推移の説明をの問いに、国民健康保険の加入者は年々減っている。令和5年度末は2,800世帯、4,308人であったが、令和6年度末は2,693世帯、4,003人に減少している。被保険者数が減っていることで税収も減少しているとの回答であった。

後期高齢者医療への移行、社保への移行について、実数等は調べているかの問いに、令和6年度で団塊世代の後期高齢者医療への移行がほぼ終了。現在、国保と後期高齢者医療の加入者がほぼ同じ4,000人である。社会保険は令和6年10月に適用拡大があり、

従業員50人以上の企業では社会保険に加入することになったため、国保の減少につながったと思われるとの回答であった。

以上で質疑を終結し、総務文教厚生常任委員会に切り替えたところ、討論はなく、採決の結果、認定第2号、令和6年度みなかみ町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定については、認定すべきものと決定されました。

続きまして、認定第3号、令和6年度みなかみ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてご報告申し上げます。

本件につきましても、既に提案理由の説明が終了しておりますので、直ちに質疑に入りました。

ここ数年の加入者数の推移と今後の見込みを説明いただきたいとの問いに、後期高齢者医療の加入者は年々増えている。それに伴い保険料も増えている。この流れは続いていくとの回答であった。

広域連合事務費負担金過年度返還金はどのようなものなのかの問いに、広域連合の事務費は各市町村が毎年広域連合に納めている。年度をまたいで精算が発生し、市町村に返還があるときの科目であるとの回答でありました。

以上で質疑を終結し、総務文教厚生常任委員会に切り替えたところ、討論はなく、採決の結果、認定第3号、令和6年度みなかみ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定については、認定すべきものと決定されました。

続きまして、認定第4号、令和6年度みなかみ町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてご報告申し上げます。

本件につきましても、既に提案理由の説明が終了しておりますので、直ちに質疑に入りました。

不用額が例年より増えているとの問いに、補正などで全体の予算額の減少に努める必要があったと思うが、去年より増えた理由は説明が難しいが、大きな要因は保険給付費が昨年に比べ減少傾向であるとの回答であった。

基金繰入額が例年より1億2,000万円多い理由はこの問いには、恐らく基金繰入額1億2,000万円のことだと思われる。今回、歳入差引額が2億2,000万円余りとなっている。基金の考え方は地方財政法により、決算剰余金の2分の1以上を積立てする必要があるという観点と、次年度償還金なども勘案し、1億2,000万円の基金繰入れとしたとの回答でありました。

以上で質疑を終結し、総務文教厚生常任委員会に切り替えたところ、討論はなく、採決の結果、認定第4号、令和6年度みなかみ町介護保険特別会計歳入歳出決算認定については、認定すべきものと決定されました。

以上で、認定第2号から認定第4号までの決算認定について、委員長報告といたします。

議長（小林 洋君） 委員長の審査結果報告が終了しましたので、これより質疑に入ります。

認定第2号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて認定第2号の質疑を終結いたします。

次に、認定第3号について質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ありませんので、これにて認定第3号の質疑を終結いたします。

次に、認定第4号について質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ありませんので、これにて認定第4号の質疑を終結いたします。

議長(小林 洋君) これより認定第2号について討論に入ります。

本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。

まず、反対討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(小林 洋君) 次に、賛成討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ありませんので、これにて認定第2号の討論を終結いたします。

認定第2号、令和6年度みなかみ町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についてを採決いたします。

本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。

本案は、委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ご異議なしと認めます。

よって、認定第2号、令和6年度みなかみ町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定については、原案のとおり認定されました。

議長(小林 洋君) 次に、認定第3号について討論に入ります。

本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。

まず、反対討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(小林 洋君) 次に、賛成討論の発言を許します。

(「なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ありませんので、これにて認定第3号の討論を終結いたします。

認定第3号、令和6年度みなかみ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定についてを採決いたします。

本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。

本案は、委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ご異議なしと認めます。

よって、認定第3号、令和6年度みなかみ町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定については、原案のとおり認定されました。

議 長（小林 洋君） 次に、認定第4号について討論に入ります。

本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。

まず、反対討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議 長（小林 洋君） 次に、賛成討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議 長（小林 洋君） ありませんので、これにて認定第4号の討論を終結いたします。

認定第4号、令和6年度みなかみ町介護保険特別会計歳入歳出決算認定についてを採決いたします。

本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。

本案は、委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議 長（小林 洋君） ご異議なしと認めます。

よって、認定第4号、令和6年度みなかみ町介護保険特別会計歳入歳出決算認定については、原案のとおり認定されました。

日程第4 認定第5号 令和6年度みなかみ町水道事業会計決算認定について

認定第6号 令和6年度みなかみ町下水道事業会計決算認定について

議 長（小林 洋君） 日程第4、認定第5号、令和6年度みなかみ町水道事業会計決算認定について及び認定第6号、令和6年度みなかみ町下水道事業会計決算認定についての2件を一括議題といたします。

所管の委員長の審査結果報告を求めます。

産業観光生活環境常任委員会委員長牧田直己君。

（産業観光生活環境常任委員会委員長 牧田直己君登壇）

産業観光生活環境常任委員会委員長（牧田直己君） 本委員会に付託されました認定第5号、令和6年度みなかみ町水道事業会計決算認定についてから認定第6号、令和6年度みなかみ町下水道事業会計決算認定についてまでの審査の経過と結果を一括してご報告申し上げます。

なお、認定第5号から認定第6号につきましては連合審査を経ておりますので、主立ったものをご報告させていただきます。

最初に、令和6年度みなかみ町水道事業会計決算認定についてです。

本案につきましては、本会議初日に提案理由の説明が終了しておりますので、直ちに質疑に入りました。

質疑では、主要成果報告書が去年まで23事業の評価だが6事業に減っているのはとの問いに対し、事務事業は一般会計の中の業務として扱われる。今回、下水道事業が企業会計になったということで、対象から外れている。水道事業会計においては一般会計からの

繰出金等が残っている。業務は一切何も変わらず行っているとの回答がありました。

近年、全国的に水道施設の老朽化による事故等の報道が多くなっている。今後の水道事業の展望について、町はどのように考えているのかの問いに対し、固定資産の整理ができていないため、更新計画、ストックマネジメント計画といわれるものにつくれないでいる段階。とはいいつつも、いろいろなところで漏水はしているので、漏水の多い地域については個別で管路の布設替えの計画を立てている。管路の更新をして漏水を極力減らし、配水流量と有収水量の差を極めて少なくしていくという形が今後取ればよいと思っているとの回答があった。

今の水道料金で将来的な施設設備を賄えるのかの問いに、しっかりとした更新計画はつくれていない状態のため、まずそれをつくり、水道料金の将来について話をさせていただきたいと思っているとの回答があった。

上毛高原駅を核とした開発計画に着手する動きがあるが、これについては安定的に安心した良質な水道水の供給というものがなくて、計画が前に進まないというのが前提だと思う。水道課に積極的な姿勢が必要だと思いますがいかがでしょうかの問いに対し、上毛高原駅の開発に関しまして、上下水道課はまだ声がかかっていない状態であります。開発行為では何ができるか分からないが、場合によっては水が足りなくなることも考えられますので、早めに動いていきたいと思っているとの回答があった。

事業収入のところで、その他営業収益が昨年度から倍になっていることと、雑収益との違いを教えていただきたいとの問いに、その他営業収益の増額について、オープンハウスと桃小の大口の加入金がありました。その他雑収益については水道施設利用料と土地賃借料であるとの回答があった。

老朽化している管を変えていくために全体のストックマネジメント計画のために必要なことはの問いに対し、固定資産の整理をしたいのですが、人手不足で行えないのが現状。固定資産台帳というものを時間がない中でやっていきたいと思っているとの回答がありました。

以上で質疑を終結し、産業観光生活環境常任委員会に切り替え、討論はなく、採決の結果、全会一致をもって原案妥当と認め、認定第5号、令和6年度みなかみ町水道事業会計決算認定については、原案のとおり認定すべきものとして決定されました。

次に、認定第6号、令和6年度みなかみ町下水道事業会計決算認定について、ご報告申し上げます。

本案につきましても、提案理由の説明が終了しておりますので、直ちに質疑に入りました。

質疑では、損益計算書の中の営業外収益、他会計補助金と他会計負担金について、他会計とはどういうことかの問いに対し、他会計というのは一般会計のこと、他会計の負担金とあるのが基準内といわれている役場が下水道に支出すべきと認められるお金のこととの回答があった。

合併処理浄化槽の普及促進事業について、令和5年度は30基、令和6年度は14基と約半分になっているが、その要因はの問いに対し、家のローンなど金利の要因も絡んでく

と思われるが、正確なことは分からない。基本的に我々が目指しているところはくみ取り単独浄化槽からの転換。これを増やしたいと思っていますので、令和7年度からは宅内排水設備の補助も10万円出るようにしました。今年度は広報の計画を立てているということで、その中でしっかりとお伝えしていきたいと思っているとの回答がありました。

以上、質疑を終結し、産業観光生活環境常任委員会に切り替え、討論はなく、採決の結果、全会一致をもって原案妥当と認め、認定第6号、令和6年度みなかみ町下水道事業会計決算認定については、原案のとおり認定すべきものとして決定されました。

以上、産業観光生活環境常任委員会の委員長報告といたします。

議長（小林 洋君） 委員長の審査結果報告が終了しましたので、これより質疑に入ります。

認定第5号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、認定第5号の質疑を終結いたします。

次に、認定第6号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて認定第6号の質疑を終結いたします。

議長（小林 洋君） 次に、認定第5号について討論に入ります。

本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。

まず、反対討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） 次に、賛成討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて認定第5号の討論を終結いたします。

認定第5号、令和6年度みなかみ町下水道事業会計決算認定についてを採決いたします。

本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。

本案は、委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ご異議なしと認めます。

よって、認定第5号、令和6年度みなかみ町下水道事業会計決算認定については、原案のとおり認定されました。

議長（小林 洋君） 次に、認定第6号について討論に入ります。

本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。

まず、反対討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） 次に、賛成討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて認定第6号の討論を終結いたします。

認定第6号、令和6年度みなかみ町下水道事業会計決算認定についてを採決いたします。
 本案に対する委員長報告は認定すべきものであります。
 本案は、委員長報告のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(小林 洋君) ご異議なしと認めます。

よって、認定第6号、令和6年度みなかみ町下水道事業会計決算認定については、原案のとおり認定されました。

日程第5 議案第79号 令和7年度みなかみ町一般会計補正予算(第2号)について
 議案第80号 令和7年度みなかみ町水道事業会計補正予算(第1号)について

議長(小林 洋君) 日程第5、議案第79号、令和7年度みなかみ町一般会計補正予算(第2号)について及び議案第80号、令和7年度みなかみ町水道事業会計補正予算(第1号)についての2件を一括議題といたします。

本案については、過日の本会議において提案理由の説明が終了しておりますので、直ちに質疑に入ります。

議案第79号について質疑はありませんか。

12番石坂武君。

12番(石坂 武君) 予算書の7ページ、企画費のアーバンデザインセンター活動費支援補助金については、6月の定例時に700万円の補正をしたと思います。内容については施設の改修、備品購入、消耗品購入、電話回線の手数料等ということで説明を受けております。今回150万円の補正が出ておりますけれども、ここの部分の内容について、まず教えてください。

議長(小林 洋君) 企画課長。

(企画課長 小池俊弘君登壇)

企画課長(小池俊弘君) お答えいたします。

前回の補正後、アーバンデザインセンターの準備室ということで、様々な議論を重ねてまいりました。その中でアーバンデザインセンターが正式に発足する前に、前回ハード的なところだったんですけども、今回に関しましてはソフト的な部分ということで、内容といたしましては、まずアーバンデザインセンターのロゴマークのデザイン作成でありますとか、ウェブサイトの制作デザイン等の作成、それから若干の備品購入としてロッカーとか長机等の追加、それから、今、学生さんを中心にエリアの立体模型等を検討していただいておりますが、その作製等を行う予定で補正予算を上げさせていただきました。

以上です。

議長(小林 洋君) ほかにありませんか。

石坂武君。

12番(石坂 武君) 前回これが見込めなかったというのがちょっと甘い予算かなというふうに思

っているわけですがけれども、総額850万円になっているわけなんですけれども、今回でこの種の補正は完結ということで、今後補正は発生しないということによろしいでしょうか。

議長（小林 洋君） 企画課長。

（企画課長 小池俊弘君登壇）

企画課長（小池俊弘君） お答えいたします。

準備室の中で、毎週定期的な会議等を行っている中で今回補正が発生したんですが、現時点においてはこれ以上の補正予算の見込みはありません。

以上でございます。

議長（小林 洋君） ほかに。

石坂武君。

12番（石坂 武君） 具体的な事業展開の前に、これだけの金額を使うわけですから、具体的な事業展開に向けては心して取り組んでいただきたいということと、今後の充実した事業を進めるために、事業の進捗状況等は随時説明をいただけるのか、2点、町長に回答をお願いしたいと思います。

議長（小林 洋君） 町長阿部賢一君。

町長（阿部賢一君） 石坂武議員の質問に答弁させていただきます。

補正予算、こういう形で見込みが甘かったという点につきましては申し訳なく思っております。今回、企画課長が答弁しましたように、今後発生しないという方向で、今、準備を進めているところでもあります。当然、この進捗状況とか、いろいろどんな議論があったかとかという部分については、今までもこの案件に限らず、議会の皆様方には丁寧に説明しているつもりなんですけれども、これは当然透明性を保つ中でしっかりと機会を見ておつなぎをさせていただきたいと思っております。

やはり、今までいろいろ動かなかった部分で、ようやくここであの辺一帯を核にした動きということが、これ、実際の地元の皆さんからの要望を受けて、今回こういう形で準備を始めたところでもあります。せっかくの機会ですので、今まで我々も大変、先方といろいろお伺いして、こういう取組をこれからみなかみ町で考えていくんですよということを丁寧に説明をさせていただきました。東京大学の工学部の村山先生はじめ、オープンハウスの荒井正昭社長、そしてJR東日本情報システムの会長であります細川氏とも面談をさせていただきました。そして、JR東日本の高崎の樋口支社長、そしてまた群馬銀行の深井頭取とも、時間調整した中でしっかりと直接会って丁寧に説明し、理解をしていただき、現在準備を進めているところでもあります。

これは、やはり非常に町にとっても大切な取組でありますので、皆様方に当然、議員各位には丁寧にいろいろ進捗状況や説明はさせていただきますし、透明性を保ち、そしてまた地元の皆様とも、センターが来年4月1日に設立、開所をしたときには、住民の皆様方ともいろいろそういうメンバーが議論を詰めていただく。当然、石坂武議員もいろいろ承知していただいているんだと思いますけれども、到底一朝一夕で何かがなし得られるという事業ではありません。これは多少時間というのは、これは有するのは仕方ない、当然の

ことだと思っていますし、町としても今回のこの取組を惜しみなく、やはり支援していくのが、みなかみ町の持続可能な発展につながることだというふうに考えております。

ご指摘の情報が、やはり機会、機会で共有をさせていただくということでご理解をいただければと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

議長（小林 洋君） ほかに。

茂木君。

- 5 番（茂木法志君） 7 ページの 7 地域振興費、地域づくり木育推進事業についてなんですけれども、これ全協等で説明を受けていまして、ご家族の方が来たときに、お子さんと母親の方はおもちゃ美術館のほうで、その傍らお父さんのほうがこの木育推進事業のほうの木工のほうですか、こちらのほうで D I Y などをするというような計画を内容でお聞きしていますが、ちょっとその事業の収支予測、またその計画内容等、もう少し細かく聞かせていただければと思います。

議長（小林 洋君） 企画課長。

（企画課長 小池俊弘君登壇）

企画課長（小池俊弘君） お答えいたします。

今回の木工房に関しましては、旧新治保健センターを改修しまして、前回、全協でお話させていただいたとおりなんですけれども、先行して木育工房を設置することで、よりおもちゃ美術館等を建設していく上で、町内産木材をしっかりと使えていくということの中で、今回補正予算に上げさせていただきました。経営の状況というか、運営方針なんです、町が今、広葉樹産業化プロジェクトで包括連携協定を結んでおりますオークヴィレッジさん等と、あと、たくみの里の木のおもちゃの家の管理業務をお願いしているたくみの里、それから、たくみの里の木工の家の現在の状況等を含めまして、協議、またアドバイスをいただいた中で、現時点では十分その施設を回していくだけの収益が上げられるであろうということを見込んでおります。

それから、そのほかにも製造等に関しましては技術的なところの指導もオークヴィレッジさん、それから販路についても非常に積極的に各方面に紹介していただくような形を取っております。

ということの中で、現在その運営自体が順調に回るようになりますと、現在進めております自伐型林業でありますとか、町内の木材の六次産業化等にも大きな影響をもたらす。施設だけの収益ではなく町内にさらに資源であり、お金が巡回していくような仕組みになるというふうに考えております。

以上です。

議長（小林 洋君） ほかにありませんか。

4 番牧田君。

- 4 番（牧田直己君） ただいまの関連の質問なんです、今の説明ですと、最初の初期投資、ここに書いてあるような形では資質はもちろんあるということで、それはもういいものを作っていたきたいと思う反面、そのランニングコストにおいて町からの持ち出しを行う予定というのはないというふうに聞こえたんですが、そういう解釈でよろしいでしょうか。

議長（小林 洋君） 企画課長。

（企画課長 小池俊弘君登壇）

企画課長（小池俊弘君） お答えします。

実際のところ、順調に運営が回り始めましたら、その運営費等はペイできるような形の計算をしております。ただし、スタート時点に関しましては、まだ収益が上がってこないところもありますので、若干のそこら辺の費用も町からの持ち出しになる可能性はあるかと思っております。逆にそこをできるだけ押さえるために、先行して木工房を造ることですスタートがうまく行ければというふうに考えております。

以上です。

議長（小林 洋君） ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて議案第79号の質疑を終結いたします。

次に、議案第80号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて議案第80号の質疑を終結いたします。

議長（小林 洋君） これより、議案第79号について討論に入ります。

まず、反対討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） 次に、賛成討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて議案第79号の討論を終結いたします。

議案第79号、令和7年度みなかみ町一般会計補正予算（第2号）についてを採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第79号、令和7年度みなかみ町一般会計補正予算（第2号）については、原案のとおり可決されました。

議長（小林 洋君） これより、議案第80号について討論に入ります。

まず、反対討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） 次に、賛成討論の発言を許します。

（「なし」の声あり）

議長（小林 洋君） ありませんので、これにて議案第80号の討論を終結いたします。

議案第80号、令和7年度みなかみ町水道事業会計補正予算（第1号）についてを採決いたします。

本案は、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長(小林 洋君) ご異議なしと認めます。

よって、議案第80号、令和7年度みなかみ町水道事業会計補正予算(第1号)については、原案のとおり可決されました。

日程第6 閉会中の継続審査・調査申出について

議 長(小林 洋君) 日程第6、閉会中の継続審査・調査申出についてを議題といたします。

各委員会委員長より、各委員会において審査・調査中の事件につき、会議規則第75条の規定により、お手元に配付いたしました申出書のとおり、閉会中の継続審査・調査の申出があります。

お諮りいたします。

各委員会委員長より申出のとおり、閉会中の継続審査・調査に付することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長(小林 洋君) ご異議なしと認めます。

よって、申出のとおり閉会中の継続審査・調査に付することに決定いたしました。

日程第7 字句等の整理委任について

議 長(小林 洋君) 日程第7、字句等の整理委任についてを議題といたします。

お諮りいたします。

本議会で議決された案件について、その字句等の整理を要するものについては、会議規則第45条の規定により、その整理を議長に委任されたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議 長(小林 洋君) ご異議なしと認めます。

よって、そのとおりに決定いたしました。

議 長(小林 洋君) 以上で、本定例会に付議された案件の審議は全て終了いたしました。

町長閉会挨拶

議 長(小林 洋君) 閉会に当たり、町長より挨拶の申出がありましたので、これを許可いたしま

す。

町長阿部賢一君。

(町長 阿部賢一君登壇)

町 長(阿部賢一君) 小林議長のお許しをいただきましたので、閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

9月2日に開会いたしました本定例会におきましては、条例の制定や改正、補正予算、決算認定等の重要案件につきまして滞りなく議了していただきましたことにまずもって感謝申し上げます。ありがとうございました。

審議の間に頂戴いたしましたご意見、ご提言につきましては、十分検討し、今後の行政運営に当たる所存でございます。

さて、9月6日、7日に開催されました第16回水上温泉おいで祭りでは、2日間で約3,000人のお客様に訪れていただきました。議員、皆様にも参加いただき、6日のおいで踊りパレードでは、観光客や地元の方々でにぎわう湯原温泉街を12団体、約250人が練り歩き、翌日7日の御輿パレードでは約150人による渡御が行われました。

両日とも大変活気に満ちたものであり、地域の絆を育み、心を一つにして楽しむことができるこのおいで祭りが、今後ますます発展し、地域の活力になっていくことを心から期待をしております。

一方、9月10日夕方には、豪雨により利根沼田地区の広範囲にわたって災害が発生し、本町でも床下、床上浸水や法面崩壊など多くの被害がありました。被害に見舞われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。11日には、早速被災された現場のお宅をお伺いし、お見舞いを直接申し上げてきたところであります。

また、このたびの災害対応に対し献身的に活動いただきました消防団をはじめ、地域の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。

昨日9月11日には水上中学校体育祭が開催され、小林議長、田村教育長と出席してまいりました。生徒304名の皆さんが力を合わせ、全力で競技や演技に取り組む姿に大変感銘を受けました。先生方や保護者の皆様のお支えの下、心温まるすばらしい体育祭で、何より町の未来を担う中学生たちのたくましさで無限の可能性を改めて感じる機会でありました。

議員各位におかれましては、施策協議や地域の諸行事への参加など、議会閉会後も多忙なものと推察いたしますが、くれぐれも健康にご留意いただき、引き続きご活躍されますことを心よりご祈念申し上げ、閉会に当たっての挨拶とさせていただきます。この議会、大変ありがとうございました。

議長閉会挨拶

議 長(小林 洋君) 閉会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

定例会中は終始熱心なご審議を賜るとともに、各委員会においても慎重な審議をしてい

いただきました。議員各位と町長をはじめ当局の皆様のご協力をいただき、全ての案件を無事終了することができました。

結びに、今期定例会において予定されました案件、全てを議了していただき、ただいまをもって無事閉会の運びとなりました。

議員並びに関係者、当局の皆様に感謝を申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。

閉 会

議 長（小林 洋君） これにて、令和7年第5回（9月）みなかみ町議会定例会を閉会いたします。

（午前 9時55分 閉会）